

VCP 9.5 リリースノート

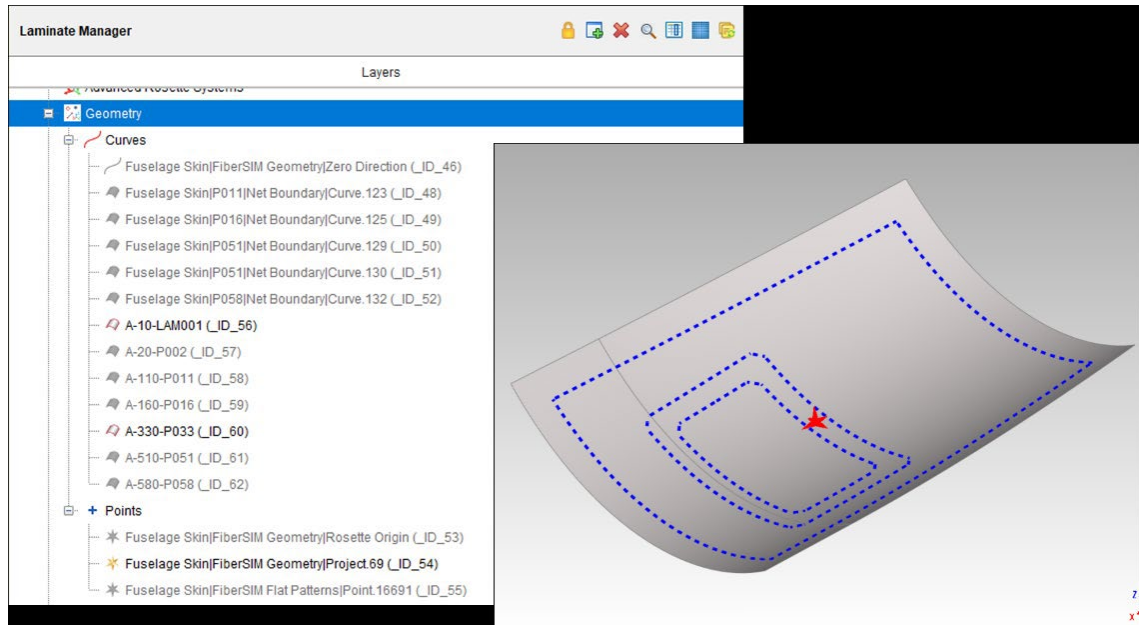
2024 年 6 月 26 日

ベリカットコンボジットプログラミング (VCP) v9.5 は 64 ビットの Windows で利用でき、Windows 10 と Windows 11 のコンピュータで稼働します。

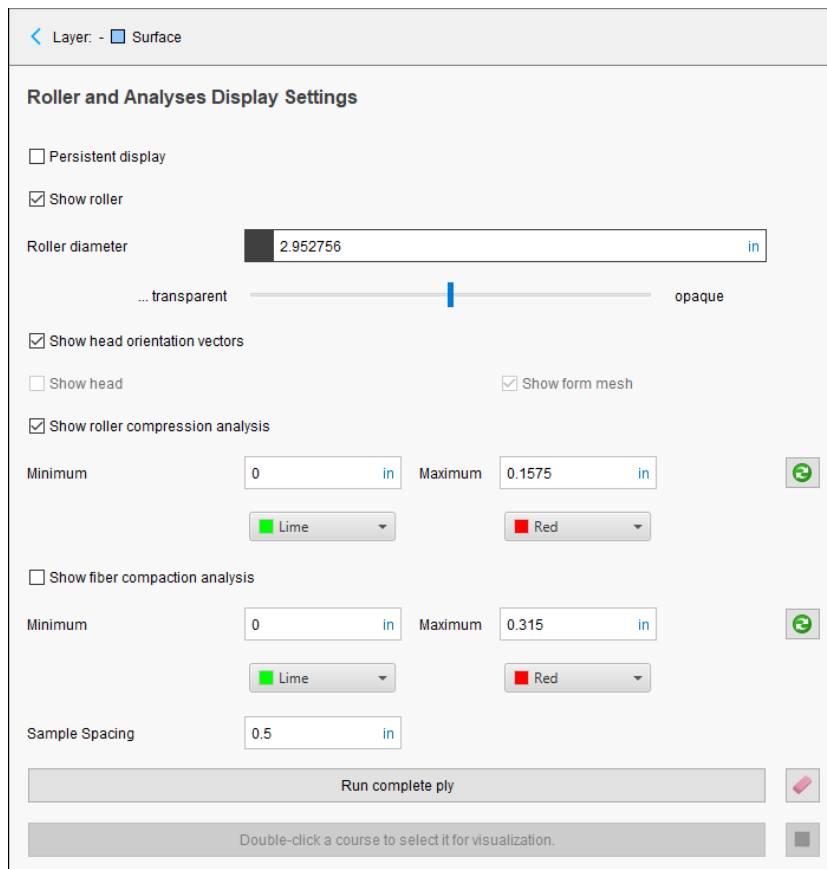
このソフトウェアは、ベリカット v9.5 のライセンスと Sentinel v9.8.1 のライセンスサーバーを必要とします。

VCP 9.5 における機能強化

- ラミネートマネージャーにジオメトリノードを追加します。ラミネートツリーから、カーブと点群に関して、表示／非表示、名前の変更、追加／削除できるようになります。



- 「ローラーと分析の表示設定」内のチェックボックスのオプションは環境設定ファイルに追加され、ソフトウェアを閉じて再度開いたときにこれらの設定は記憶されるようになります。



- [ローラーの可視化]カードの「ローラーと分析の表示設定」セクションに消去アイコンを追加し、このカードを使って生成された解析結果を簡単に削除できるようになります。

- Python API に新しい 2 つの関数が入ることで、アクティブなプライを既存のプライや新しいプライにマージできるようになります。
- VCP でファイル構成／コピーを生成すると、自動的にプロジェクト内のすべてのポストプロセッサが含まれるようになります。

VCP 9.5 で解決した問題

- VCP で「ゴースト」トウが表示されるいくつかの問題はなくなりました。
- 規則チェックのピンがピン測定テーブルに含まれるのを妨げるいくつかの問題は修正されました。
- トウがプライ境界を侵害する問題は解決されました。
- ダークモードで項目が読みにくくなるいくつかの問題は修正されました。
- 「オプションピン」カードの「ヘッド経路に次の間隔で挿入」を使うと突然終了するいくつかの問題は解決されました。
- オプションピンがコースの最初のリンクにあるときにポストされない問題は解決されました。
- 厚さモデルの表示切り替えにクリックが 2 回必要となる問題は修正されました。
- ガイドカーブ間でなめらかな遷移が妨害される問題は解決されました。
- まちがった G コードオフセットタイプを VCP から VCS に送る問題は修正されました。
- マニュアルプライでレーザーインスペクションを生成中に、VCP が突然終了する問題は解決されました。
- 開始点からのリンク順が想定とおりにならない問題は修正されました。
- [修正]>[フラグ]>[ピックアップした最小長さのトウを]で、一部のトウを最小長さとして正しく識別できない問題は解決されました。
- 薄いパーツで、過度のオーバーラップが発生するいくつかの問題は修正されました。
- 一部のカードで CPU 使用率が急増する問題は解決されました。
- バッチマネージャーの「コースのトリム」を使った時に、場合によってトリム結果が悪くなる問題は修正されました。
- フォームオフセットのリンク使用時に、2 重に点が生成される問題は解決されました。
- VCP が「プライバウンダリーと包囲ボックスの隙間」を考慮しない問題は修正されました。
- スパアのコーナーを移動する際、場合によって急激なヘッドの動きが起こる問題は解決されました。
- [エクスポート]>[ポストプロセッサ]カードにある「リンクを隠す」のチェックボックスは正常に機能するようになりました。
- VCP では、カスタム方式のマウス構成を環境設定ファイルで正しく更新するようになりました。
- トウを長くしたり短くしたりするときに、トウの選択が不規則になる問題は解決されました。
- 「ヘッド経路のインポート」を使ったときに、コースが適切にトリムされない問題は修正されました。
- ヘッド経路に隣接するトウで[修正]>[オーバーフィル]を使うと、VCP が突然終了する問題は解決されました。
- グラフィックの異常を引き起こすいくつかの問題は解決されました。
- 「カーブの移動」カードでカーブを移動すると、不正な動作を引き起こす問題は修正されました。
- ステアリング半径のカラーピッカーが正しく動作しないエラーは解決されました。
- ヘッド経路を移動した後に、ヘッド経路が正しくトリミングされない問題は解決されました。
- 新しいプライを読み込むと、「トウのカラー設定」のプルダウンがデフォルトにリセットされる問題は解決されました。
- [分析]>[ギャップ]カードで、すべてのオーバーラップをハイライト表示できない問題は解決されました。
- 規則チェックのヒートマップに関するいくつかの問題は解決されました。
- [フラグ]カードの「ピックアップしたフォームで」にある「コースを追加」で、トウの数の設定を考慮しない問題は修正されました。

- MTorres の補助出力ファイルに誤った文字が出力される問題は解決されました。
- [ツール]タブ>[直線]カードで、異常な動作を引き起こす問題は解決されました。
- [分析]タブ>[探索]カードで「ブライ範囲」を探索すると、VCP が突然終了する問題は解決されました。
- 島のある幅広テープコースを選択すると、VCP がフリーズする問題は修正されました。
- ガイドカーブで ATL を使う際のいくつかの問題は解決されました。
- ATL コースで、「コースのトリム」のバッチアクションが機能しない問題は修正されました。
- 探索オプションと ATL コースに関するいくつかの問題は修正されました。
- ATL コースで、「リンク済のヘッド経路を移動」のバッチアクションが機能しない問題は修正されました。
- ATL コースで、「ヘッド経路を内側に移動」のバッチアクションが機能しない問題は修正されました。

VCP 9.5.1 リリースノート

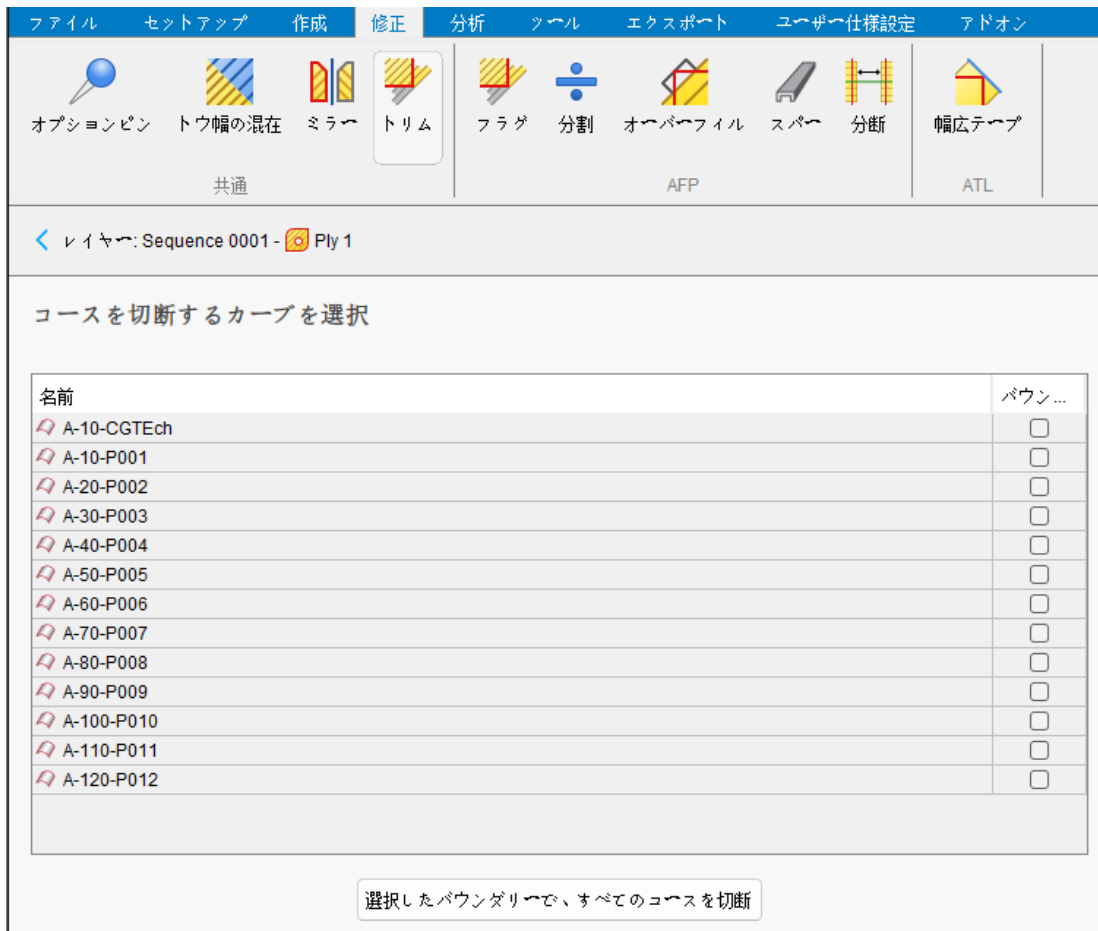
2024 年 8 月 30 日

ベリカットコンポジットプログラミング (VCP) v9.5.1 は 64 ビットの Windows で利用でき、Windows 10 と Windows 11 のコンピュータで稼働します。

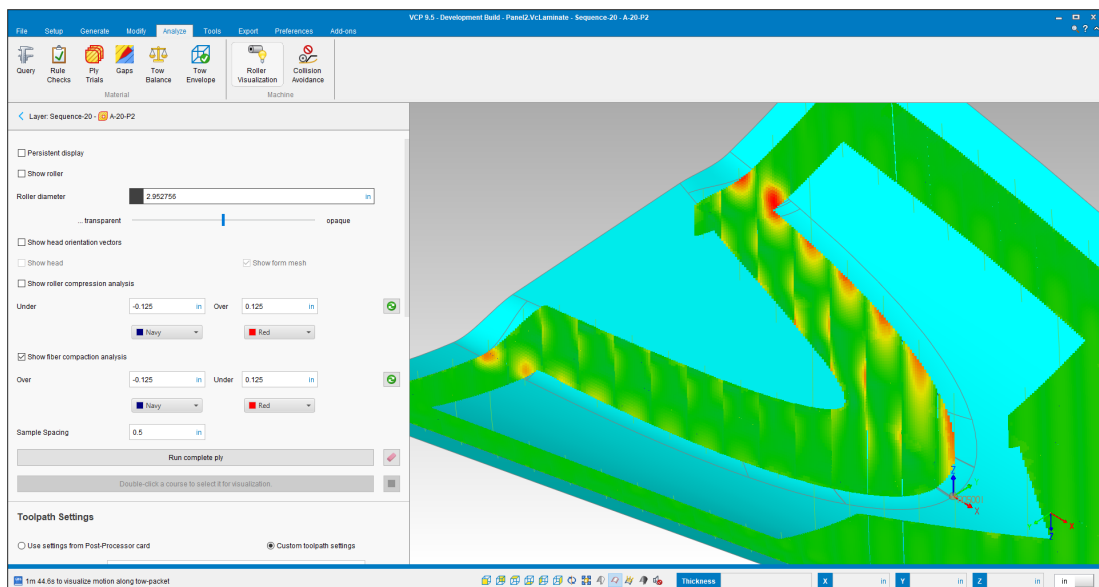
このソフトウェアは、ベリカット v9.5 のライセンスと Sentinel v9.8.1 のライセンスサーバーを必要とします。

VCP 9.5.1 における機能強化

- 「修正」タブ>「共通」グループに、「トリム」カードを追加します。



- 「ローラーの可視化」カードを機能強化し、分析を容易にします。



- 形状ノードは、サーフェスノードを初めて開いたときに自動的に折り畳まれるようになります。
- すべてのリンクの修正後には、保存を求めるようになります。
- Python API ドキュメントが更新されます。

VCP 9.5.1 で解決した問題

- 「カーブのツール」カードの「方向の表示」を使用中に VCP が突然終了する問題は解決されました。
- ある状況において、getCutLocations()が正しいデータを返さないポストの問題は修正されました。
- 不適切なカーブ形状を使うとバッチトリミングができない問題は修正されました。
- トウスライダーを使うと、[修正]タブ>「スパー」カードで「指定したロゼット軸方向に、すべてのヘッド経路を移動する」が正しく機能しない問題は解決されました。
- ヘッドレスモードでレーザープロジェクションファイルをエクスポートできないエラーは修正されました。
- [修正]タブ>「フラグ」カードの機能を使ってコースを分割後に起こるローラー可視化の問題は解決されました。
- [修正]タブ>「フラグ」カードの「トウの追加」は、[セットアップ]タブ>「積層」カードの「トウバウンダリーのオーバーラップ」のすべての設定と、矛盾なく機能するようになりました。
- AFP プロセスにコースがない場合にレーザープロジェクションが失敗する問題は修正されました。
- プライの名前にピリオドが含まれているとバッチアクションのスクリーンショットが生成されない問題は解決されました。
- コース生成中に、「積層」カードの「プライバウンダリーと包囲ボックスの隙間」が原因でプライバウンダリーが完全に埋められない問題は修正されました。
- 極端な場合に、ランアウト長さ設定でポスト中に VCP が突然終了する問題は解決されました。
- バッチプロセスを実行する前に ESC キーを押すとプロセスが停止する問題は修正されました。
- トリムコースのバッチアクションで、トウバウンダリーのオーバーラップ設定が考慮されるようになりました。
- プライ範囲の計算が不正確になる問題は解決されました。
- ATL コースで、「プライ角度の逸脱」最大値とピン配置が矛盾する問題は修正されました。
- ダークモードにおけるフォントのカラーに関する問題は解決されました。

VCP 9.5.2 リリースノート

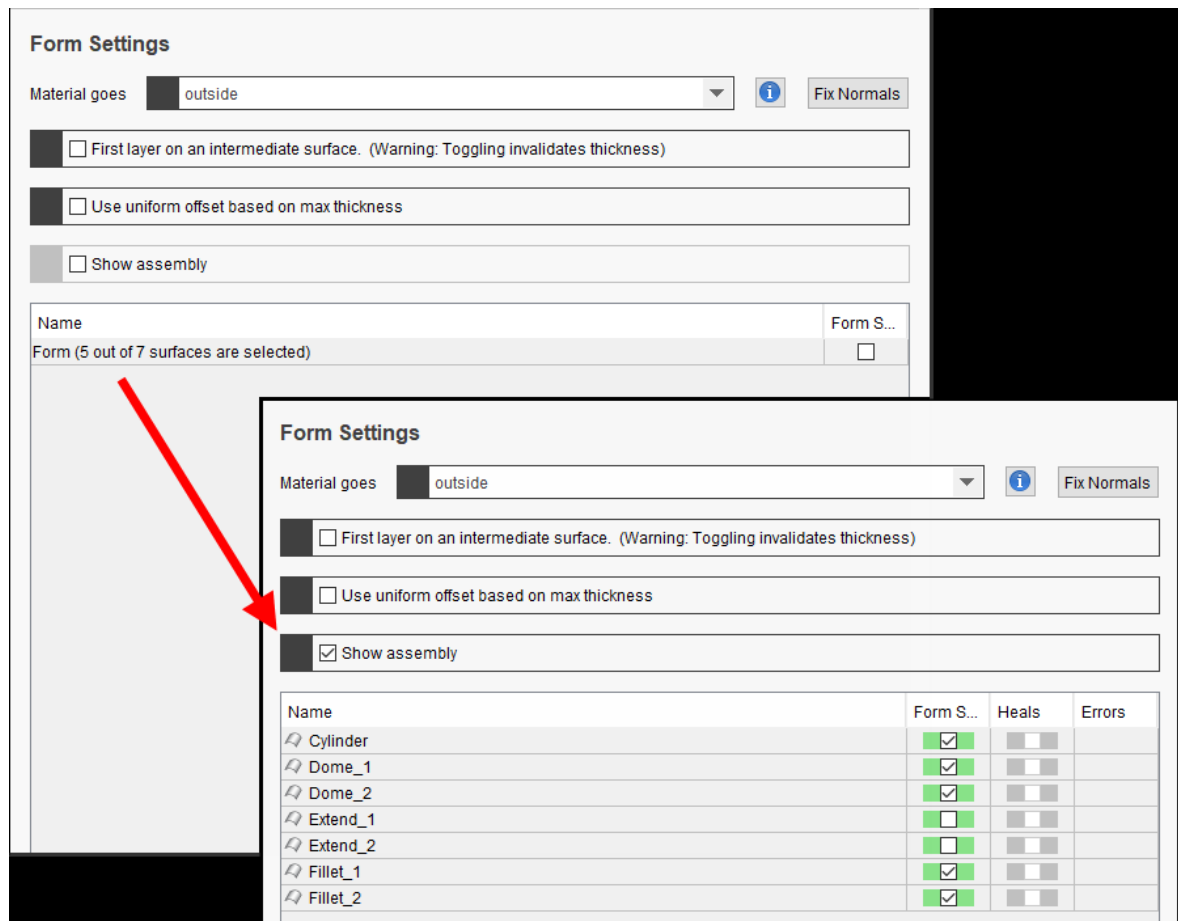
2024 年 12 月 6 日

ベリカットコンポジットプログラミング (VCP) v9.5.2 は 64 ビットの Windows で利用でき、Windows 10 と Windows 11 のコンピュータで稼働します。

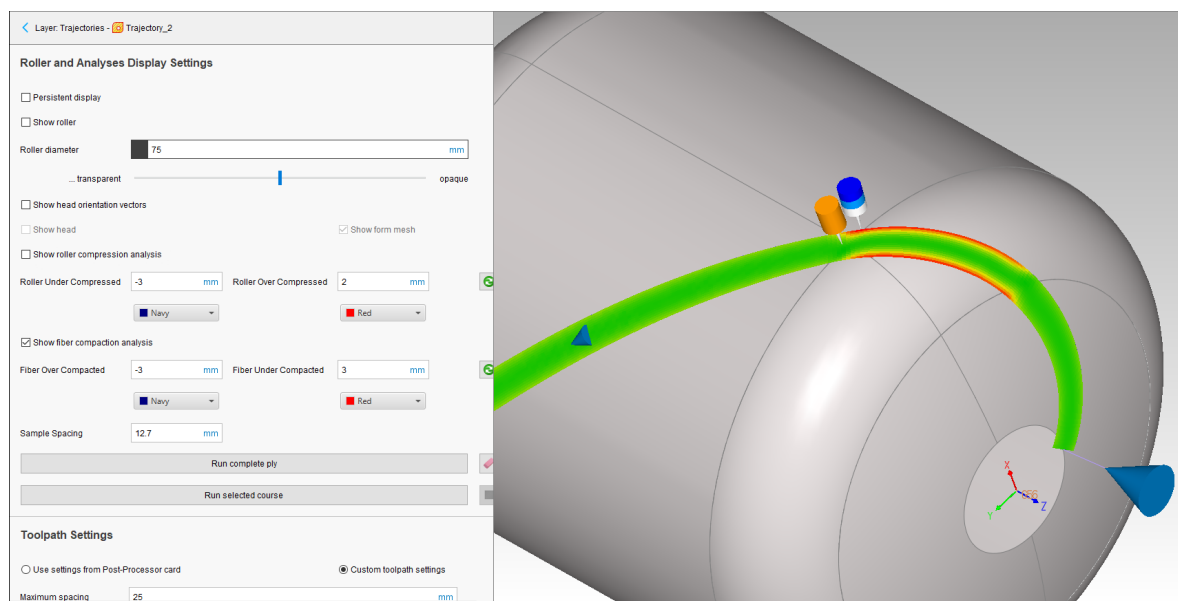
このソフトウェアは、ベリカット v9.5 のライセンスと Sentinel v9.8.1 のライセンスサーバーを必要とします。

VCP 9.5.2 における機能強化

- インポートしたフォームサーフェスを選択しやすくできるように、アセンブリーにしてグループ化できるようになります。



- 「ローラーの可視化」カードの機能強化により、明瞭性が向上し、ユーザーの理解度が改善します。



- Virtek レーザーシステム用のレーザープロジェクションファイルを生成できるようになります。
- CATIA CPD XML のインポート機能を強化し、CATIA V6 形式との互換性をサポートします。

- Robot Python API により、ポストプロセッサ内から、軸のリミットオーバーとリミットオーバー近傍警告を検出できるようになります。
- VCP の改善により、Java Native Interface (JNI) と Python API からのマトリックス処理が容易になります。
- Robot Python API に高レベルのサービスが追加され、特定のロボット状態 (マシン CSYS) とプログラムゼロ CSYS との変換および逆変換が簡単にできるようになります。
- Robot Python API の機能強化により、ストロークリミットを超える位置を回避するよう優先するロボット動作を選択する機能が追加されます。
- Excel のラミネートテンプレートを更新し、トウのマスクと積層範囲を設定できるようになります。
- VCP のプロフィールでは、ポスト設定をノード ID ではなくポスト ID にリンクするようになり、ラミネート全体でポストプロフィール設定を保持するようになります。
- VCP に新しいユニットテストフレームワークが実装されます。
- 「デフォルトバッチアクション」に関するヘルプを追加します。
- 「ギャップ」カードに関するヘルプを更新します。
- 「リンク」カードにある「回転軸」に関するヘルプを追加します。

VCP 9.5.2 で解決した問題

- 「トリム」カードで、3D ビューで選択してもパーツから外れている場合に、VCP が突然終了する問題は修正されました。
- 一部の端部において、ヘッド経路を指定した側に移動するとコースが壊れる問題は解決されました。
- インストーラーからベリカットコンポジットプログラミングだけをインストールすると、VCP を正しく実行できない問題は解決されました。
- 一部のインスタンスで、PyPost:SegmentCourse.getTowPoints()を使うと VCP が突然終了する問題は解決されました。
- VCP で作成された BDF ファイルを Marc/Mentat にインポートできない BDF フォーマットの問題は解決されました。
- 「フォームオフセット」のリンクコースをポスト処理すると、VCP が突然終了する問題は解決されました。
- ある状況で、奇数のトウがコースに含まれているとトウが欠落する問題は解決されました。
- バレル巻き付けパーツで、トウのトリミングが不正確になる問題は解決されました。
- 一部の形状で、「バレル巻き付け反復」を使うとコース生成が停止する問題は解決されました。
- プライを開いた後に形状ノードが折り畳まれない問題は解決されました。
- 複数のガイドカーブを使うと不要なギャップが作成される問題は解決されました。
- 状況によって、コースバウンダリーを超えてコースが生成される問題は解決されました。
- ギャップ分析で、設定された許容値でギャップをすべて検出できない問題は解決されました。
- PyPost API: addPoint() to linkData の実行が失敗する問題は修正されました。
- 一部のリンクパス法線(IJK)で長さがゼロになる問題は解決されました。
- 接線ベクトルが反対の場合、PyPost API:SegmentData.interpolatePoint() の実行が失敗する問題は修正されました。
- 拡張ロゼットシステムが予期せず他のラミネートに転送される問題は修正されました。

